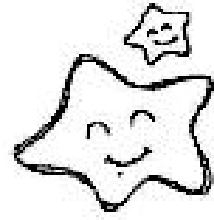


QSK にぬふあぶし

No.322

ね
子の方向の星(北極星)



家族大会2023のご報告

10月20日(金)、西原町さわふじ未来ホールにて『家族大会2023』が開催されました。アメリカで活動する全米精神障害者家族会連合会サウスベイ支部の日本語サポートグループのみなさんと会場とをオンラインでつないで、情報交換を行なっています。

個人というものがとても尊重されて、同時にひとりひとりがそれだけの責任を担い合う、アメリカにおける社会の価値観が、話のなかでもとりわけ印象的でした。

医療や福祉といった制度はもとより、国が違えば「家族」の捉え方も違って、もちろんどちらが正しいとか間違っているとかでもなく、そうすると暮らしにおける幸福とはどんなことかということもきっとそれぞれであるように思えてきて、日常を俯瞰できるこういう時間はとても貴重で、またこれからつながるものだったと感じています。

会場に足を運んでいただいたみなさまも、本当にありがとうございました。(増山)



第54回 精神保健福祉普及大会がありました

11月1日(水)、精神保健福祉普及大会がありました。

ここ数年のコロナ禍では、オンライン開催だったり小規模にしたりという工夫がありましたが、今年は久しぶりに、浦添市のアイムユニバースてだこ大ホールを会場に、物品販売や懇親会などもある賑やかな大会となりました。

功労者表彰では、八重山家族会『やらぶの会』の大濱守哲会長が県知事表彰を、また那覇市『地域活動支援センターまあーじ』多和田紀子所長らが、優良精神保健福祉事業者表彰を受けています。

大会のテーマを『メンタルヘルスを支える生活習慣を考える』とした今回は、マインドfulness瞑想や、食事、睡眠など、日常的に誰にでも取り入れることのできる情報がいっぱい、日々の暮らし方がいかに心の健康につながっているかをあらためて考えさせられました。

販売ブースには『てるしのワークセンター』も参加！



🌸 喜びの記念撮影 🌸

てるしのワークセンター、地域活動支援センターてるしの この秋、たくさんの交流をさせていただきました♪

【10/28沖大祭】

今回初めて、沖縄大学の大学祭に参加させてもらいました。きっかけは、沖大からてるしのに来ていた精神保健福祉士の実習生の一言。

「10/28～29は沖大祭なんですよー」

「えー、じゃあてるしのも出ていい!？」

なんて、軽いやりとりから実現しました。

てるしの商品の販売はもちろん、私宅監置の写真展、段ボールに手染めした紅型のしおり作りやストレスに関するワークショップ、クイズなど盛りだくさん。

てるしのメンバーも途中参加し、「大学ってこんな雰囲気なんですね」と嬉しそうに話してくれました。沖大祭への参加に向けてご協力いただいた先生方、学生のみなさん、ありがとうございました。来年もどうぞよろしく!



【11/17 地活合同福祉バザー】

南部圏域の地域活動支援センター6事業所が合同で行なう合同福祉バザー&パネル展も今年で8回目。

毎年、南城市にあるイオン南成大里さんのご協力のもと開催しています。

新型コロナが流行していた年は、パネル展のみの開催でしたが、今年は各市町村のキャラクターが応援に来てくれ、じゃんけん大会を行うなど、久々に賑やかなオープンセレモニーも開催できました。



【島尻特別支援学校秋祭り】

同じ11/17は島尻特別支援学校の秋祭りへも出店させていただきました。

島尻を卒業したメンバーさんに販売をお願いし、なんと、てるしのブースの前は行列!!

てるしのメンバーさんは久々の学校と、卒業後に成長した姿を見てもらえる嬉しい再会になりました。



これからも地域のご協力のもと、てるしのワークセンター一同、みなさまに喜ばれる商品を届けられるように頑張っていきたいと思います!!

2023年度「うるま市福祉まつり」参加しました！

精神保健福祉普及月間にあたる11月は、県内各地で福祉関係のイベントがメジロ押しでした。18日(土)にあった「うるま市福祉まつり」には、沖福連の就労支援事業所『サポートセンターゆい』も出店参加しています。

会場となった「健康福祉センターうるみん」には、うるま市内の各福祉事業所が勢揃いして、販売ブースや体験コーナーなどバラエティ豊かな内容で来場客を楽しませていました。それだけでなく、屋内では福祉講演会やパネル展示、ステージでは多様な出演団体による出し物、広い会場全体を活用した景品付きのスタンプラリーや動物とのふれあいタイムなど、実に素晴らしい企画の充実ぶり。

サポートセンターゆいのブースも、本当にたくさんのお客さんに訪れていただいて、商品を手にとっていただくことや、直接の交流を通して、日頃の活動のアピールができたのではと思います。

きっとどなたでも大満足の「うるま市福祉まつり」、もしまだ体験したことのない方は、次の機会にぜひ遊びに来てみてください！



◎編集後記◎

2023年、自炊料理のレパートリーに揚げ物が増えました。唐揚げでもポテトフライでも揚げたてはなにより美味しいのですが、この辺りのお料理は正直、お店でお惣菜を買ってきても同じように美味しいです。反対に手づくりが圧倒的な味の違いを見せるのはコロッケで、稀にあるお肉屋さんのコロッケを例外として、市販で満足のいくものと巡り合うことはほぼありません。家で作るコロッケは、味もかたちもだいたい不揃いで、首尾のよくない場合も多々ありますが、そうでありながら神の食べ物に名を連ねていいほど美味しく感じられるのが不思議なところ。来る年にも美味しいものがきっとたくさん待っていることでしょう。(増山)

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会
会長 山田 圭吾
〒901-1104
沖縄県島尻郡南風原町字宮平206-1
てるしのワークセンター内
電話098-889-4011 FAX098-888-5655
E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp
発行：九州障害者定期刊行物協会
〒812-0068
福岡市東区社領1丁目12番4号
電話092-753-9722 FAX092-753-9723
定価：10円(会費に含まれる)